

平成 30 年度 すこやかメールマガジン 第 620 号【高卒認定試験】11 月 15 日配信

平成 30 年度第 2 回高等学校卒業程度認定試験（以下「高卒認定試験」）が、11 月 10 日（土）、11 日（日）の両日、当センターを会場に実施されました。

全国で、11,729 人が出願したこの試験は、高等学校卒業と同等以上の学力があるかどうかを認定するものです。合格者は大学・短大・専門学校の受験資格が与えられる他、就職や資格試験等に活用することができます。

受験資格は、受験する年度末までに満 16 歳以上になる人であれば、高校を中退した人や高校には進学していない人、外国籍の人など、誰でも受験することができます。現在全日制高校、定時制高校、通信制高校に在籍している高校生でも受験できます。また、海外の高校を卒業したが、日本の大学の入学資格がないという場合でも受験して合格すれば進学のために活用することができるそうです。

スキージャンプの高梨沙羅選手が、競技に専念するため、猛勉強して、高校 1 年生でこの試験に臨み、1 回で合格。その後とび級で日本体育大学へ進学したという話題がとりざたされることもありました。

今回の岩手県会場では、幅広い年齢の受験者が、緊張感の中にも落ち着いた態度で試験に臨んでいるように見えました。この試験に合格したいという決意の表れからか、休憩時間も参考書を開き、試験直前まで勉強している姿が印象的でした。

そんな中、私はふと、今は亡き祖父のことを思い出しました。大正生まれの祖父は、小学校では「教育勅語」しか教えられず、学業半ばで丁稚奉公に出たため、満足に学習できずに中学校を終えたそうです。

ある日、私が高校から帰ると突然「数学の教科書を見せてほしい」というのです。そして中学も満足に終えられなかった祖父が、三角関数のことを語り始めたのには驚きました。聞けば 80 才を越えても、なお数学に未練があるというのです。復員後に、化学工場に就職し、生産ラインの改善を提案する仕事をする過程で、三角関数が必要となり独学で学んだとのことでした。「高卒認定試験」は昔の「大学入学資格検定」なので、祖父にこのことを教えてあげることができたら、きっと受験していたに違いありません。

経済的な理由で高等教育への進学を断念せざるを得なかった人、不登校になり高校へ行けなくなったなど、様々な理由で学べなかった人が「学びたい」と思ったら、今はいつでも

学び直せる時代になったと言えます。その一つ的手段として、「高卒認定試験」を更に知ってもらえたなら、多くの人が学び続けるきっかけになるのではないのでしょうか。【Ｙ】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索